

アイ・オー・データ機器 環境への取り組みはこちら

➔ <http://www.iodata.jp/company/environment/>



アイ・オー・データ機器 環境報告書 2008

環境への取り組み Environment Activity

※2007年7月～2008年6月の報告となります。

目次

Contents

- 3 社長メッセージ
会社概要
- 4 アイ・オー・データ機器環境方針
- 5 環境マネジメントシステム
- 6 環境に配慮した製品作り
- 8 地域・社会貢献活動
- 9 チーム・マイナス6%への参加
空調機の入替えについて
- 10 環境コミュニケーション
- 11 データシート

社長メッセージ

Top Message

アイ・オー・データ機器は、周辺機器を通じて、パソコンをはじめ皆様の身の周りにあるデジタル機器に新たな価値をもたらすことを使命と考え、多岐に亘るコンピューター関連技術の蓄積と、先進的な製品創りに努めてまいりました。

こうした中、当社では、「事業活動と自然との調和共生」を環境方針に掲げ、製品開発においては環境配慮設計を徹底的に追求し、主要製品分野における省エネ製品の開発を進めてまいりました。また、事業活動においての環境負荷低減の推進や環境保全活動の積極的な参加など、社員ひとりひとりに環境意識が根付いてきたことを実感しております。

しかしながら、世界的な気候変動が起こる中、グリーンITをはじめとする“環境に対して果たすべき役割”はまだまだ多く存在しております。約30年に亘り培ってきた技術力と価値創造力を活かし、PC周辺機器分野において進めてきた環境負荷低減に向けた製品づくりを、デジタル家電周辺機器分野にも拡大させ、環境面からも『皆様のデジタルライフを支える存在』へと進化を遂げてまいりたいと考えております。

今後ますますCSR(企業の社会的責任)が重要視されていくとの認識のもと、より広い視点で各ステークホルダーの皆様との連携を深め、引き続き企業としての社会的責任を果たしていく所存であります。

アイ・オー・データ機器の企業力をさらに向上させていくためにも、皆様から忌憚のないご意見・ご指導をいただければ幸甚に存じます。



株式会社 アイ・オー・データ機器
代表取締役社長

細野 昭雄



編集方針 Editorial Policy

昨年発行した環境報告書は、多くの方に目を通していただきました。ご意見もたくさん頂きましたので、この場をお借りして感謝を申し上げます。

昨年は冊子での提供を求められることもありましたので、今年の環境報告書は冊子を発行し、WEBではPDF形式での閲覧としました。

また、環境報告書を作成する社内の体制も整い、これまでは決算より3ヶ月程度掛かっていたものが1ヶ月半程度で報告できるように改善もされております。

是非ご覧頂き、昨年同様ご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

環境報告書作成プロジェクトリーダー

ご意見、お問い合わせはこちらまで…

ホームページアドレス	http://www.iodata.jp/
連絡先	住 所: 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地 E-mail: environment@iodata.jp
発行月	2008年8月
次回発行予定	2009年8月
対象分野	環境、社会貢献
作成部署	技術支援部
対象範囲	株式会社アイ・オー・データ機器・本社 第1ビル・第2ビル
対象期間	2007年7月～2008年6月(33期)

会社概要 Corporate Information



社 名	株式会社アイ・オー・データ機器
設 立	昭和51年(1976年)1月10日
代 表 者	代表取締役社長 細野 昭雄
資 本 金	3,588百万円
年 商	62,968百万円(連結ベース 2008年6月期)
株式上場	JASDAQ(コードNo.6916)
従 業 員	604人(連結ベース 2008年6月期) 557人(単体ベース 2008年6月期)
業 務 内 容	PC周辺機器全般の開発、製造、販売
子 会 社	国際艾歐資訊股份有限公司 艾歐資訊横山(香港)有限公司 艾欧北菱横山(上海)貿易有限公司 I-O DATA America, Inc.
関 連 会 社	I-O & YT Pte. Ltd. クリエイティブ・メディア株式会社

(2008年8月18日現在)

アイ・オー・データ機器環境方針

Environmental Policy

環境方針：事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器のリーディングカンパニーとして、何よりも顧客満足向上を第一に考え、「時代の一步先を行く技術力」、「市場を半歩先取りする独創的な製品創り」による情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、全社員参加による環境保全活動を独創的な製品の開発と持てる技術力を駆使し、事業活動と自然との調和共生を目指します。

- 環境監査の実施、環境委員会活動により環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
- 環境に関連する法律や業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
- 環境目的及び環境目標を定め、技術的・経済的に可能な範囲で環境に配慮し以下の活動を実施する
環境目的及び環境目標は当社の環境影響評価やマネジメントレビューによって定期的に見直しを行う
 - 省エネルギー、省資源及び3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考慮し、独創的な製品を開発する。
 - 自然環境の汚染と健康被害につながる有害な化学物質を極力含有しない製品のサプライチェーンをグリーン購入活動により構築する
 - 電力・灯油などの省エネ活動を実施し地球温暖化ガスの排出抑制に努める
 - 資源の有効利用を図るために廃棄物の発生抑制・リサイクル化の推進・リサイクル品の購入に努め、持続可能な社会形成に貢献する
- 全従業員及び当社のために働く全ての人々に、環境問題への理解及び地球環境への意識向上を図る

2005年7月

環境目標と実績

分類	環境方針	2007年度(2007.7月~2008.6月)環境目標	目標値	実績値	評価
環境目的・環境目標に関する活動	省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考慮し、独創的な製品を開発する。	マルチメディア製品の新規ハードウェア設計製品の環境配慮事項の達成率を60%以上とする。	60%以上	73.9%	☺
		新規ディスクプレイ製品の環境配慮設計事項適合率を90%以上とする。	90%以上	94.6%	☺
		新規テレビ製品の環境配慮設計事項適合率を70%以上とする。	70%以上	75.0%	☺
		メモリーモジュールに於いて環境配慮設計事項の達成率を80%以上とする。	80%以上	92.3%	☺
		USBメモリー&メモリーカードに於いて環境配慮設計事項の達成率を70%以上とする。	70%以上	82.7%	☺
		ネットワーク、ストレージ製品に於いて環境配慮設計事項の達成率の平均値を65%以上とする。	65%以上	74.3%	☺
	自然環境の汚染と健康被害につながる有害な化学物質を極力含有しない製品サプライチェーンをグリーン購入活動により構築する。	取説、パッケージ、筐体設計において環境を考慮した製品作りのための提案・調査・分析を提出する。	3件	3件	☺
		LAN DISKの市場開拓・販路施策の立案・実行を行う。	4回以上	5回	☺
		企業調査票回収率90%以上。	90%以上	100%	☺
		製品と製品を構成する部品は当社グリーン調達基準A(上位)ランク以上からの購入金額を30%以上にする。	30%以上	35%	☺
電力・灯油などの省エネ活動を実施し地球温暖化ガスの排出抑制に努める。	2007年度に準備された全ての新製品のうち、80%以上の製品数に対して製品環境情報を作成する。	80%以上	79.1%	☹	
	電気・灯油の使用量をCO ₂ 換算で2001年度比5.5%削減する。	5.5%	13.1%	☺	
資源の有効利用を図るために廃棄物の発生抑制・リサイクル品の購入に努め、持続可能な社会形成に貢献する。	当社「液晶製品 下取/買取サービス」にて下取り・買取した製品の適正なリユース・リサイクルの実施。 ※「液晶製品 下取/買取サービス」は2007年度より実施。	リユース率40%以上 リサイクル率70%以上	リユース率80.2% リサイクル率99.8%	☺	
	廃棄物(不用品)を削減するためリサイクル化を推進し、リサイクル比率を84%にする。	84%	87%	☺	
	事務用品のグリーン購入対象品目の購入比率92%を目指す。	92%	94%	☺	
	組替オーダーの件数及び対象個数を2006年度調査結果の3%減とする。	3%減	44.3%減	☺	
全従業員及び当社のために働く全ての人々に、環境問題への理解及び地球環境への意識向上を図る。	環境を考慮したシステム設計・導入、運用変更を行う。(年7件) (紙→データでの運用、作業効率向上など)	7件	7件	☺	
	WEBやメルマガにて、当社の環境活動を6件案内する。	6件	9件	☺	
	法務・知的財産部にて環境に関するカイゼン報告書を提出する。	7件	7件	☺	
	法務・知的財産部にてマイカップ運動の実施。	75%	95%	☺	

【総評】 環境配慮設計の2007年度全ての目標値に対してクリアすることが出来ました。目標値は年々向上させており、環境配慮設計技術が確実に向上しております。ただし、33期新製品における製品環境情報の作成率については実績が目標値達成には至らず、運用面での課題を残しました。その他の目標においても順調に目標値をクリアすることができ、なかでも初の取り組みである「買取り、下取りした製品の適正なリユース・リサイクルの実施」、「組替オーダーの件数及び対象個数の削減」は目標値を大幅にクリアしたほか、情報分析により新たな改善点が見えてくるという大きな収穫がありました。2007年度の成果を2008年度に活かし、PDCAのサイクルによる継続的な改善を実行していきます。

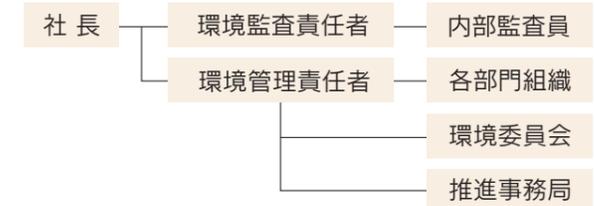
環境マネジメントシステム

Environmental Management System

環境マネジメントシステムの状況

当社では2002年1月、地球の環境保全を目的とした国際規格である『ISO14001』の認証取得し、PDCAのサイクルを基盤とした環境マネジメントシステムを構築しました。環境方針を基に各部門で目標及び実施計画を立て→運用→監査→マネジメントレビューといったサイクルによる継続的な改善を実行しております。また、毎月環境委員会を開催し、各部門の実施計画の進捗状況や報告、教育、環境に関する重要事項の審議・決定を行っております。

環境マネジメント体制図



ISO認証取得



※本社のみ認証取得

アイ・オー・データ機器は国際規格『ISO14001』を認証取得しております。今、世界は地球温暖化・オゾン層破壊・ダイオキシンなど、様々な地球環境問題に直面しています。世界規模での環境保全への関心が高まる中で当社でも環境保全に対する取り組みを行うことを決め、2002年1月、地球の環境保全を目的とした国際規格である『ISO14001』の認証取得をいたしました。

社内体制

内部環境監査員の増員

ISO規格に盛り込まれているとおり、「環境マネジメントシステムが組織の環境目標を達成する上で有効かつ適切であることを評価する」ために行う『内部監査』の機能を十分理解し、遂行するため、33期では10名(環境委員8名、希望者2名)が内部環境監査員養成講座を受講し、内部環境監査員として認定。従来の29人から39人となり、内部監査の質の向上と能力育成に努めます。



受講の様子



法規制遵守

当社の事業活動に関わる法規制等を定期的に調査・監視し、規制事項を遵守しています。環境監査責任者は毎月法規制について改正や、改正に対する関係性の有無を調査し、関係部門へ案内、協議の上、監視しています。また、毎年3月に環境委員が環境に関する全ての法規制について調査・監視を法規制チェックシートにて実施しています。

リコーCMS認証取得



近年、化学物質関連の規制が厳しくなっています。特に企業においても化学物質をいかに管理するかが問われてきています。このような中、当社では、規制の遵守はもちろんのこと、環境負荷の少ない安全な製品を提供し続けるため、株式会社リコーの化学物質管理システム(CMS)の認証を取得いたしました。

生産協力会社への取り組み

全ての生産協力会社に当社の環境方針を掲示しました。生産協力会社の食堂や製造・組立現場の掲示板上に貼って頂き、協力会社の従業員の方々にも当社の環境方針を理解して頂いております。



食堂 掲示板



製造 組立現場 掲示板

環境に配慮した製品作り(1)

Making products considered environment

省電力

製品の省電力化は、PC周辺機器メーカーである当社が最も取り組むべき環境課題の一つです。その省電力を実現した製品を紹介します。

当社独自のソフトウェア導入による節電

液晶ディスプレイ用省エネソフトウェア 節電マネージャー

お使いの液晶で最大約60%の節電を自動で実現!(17型液晶の場合)

液晶ディスプレイの消費電力に影響する一番大きな要素は「輝度」です。これにより消費電力は大きく変わってきます。この輝度を自動的にコントロールすることが出来る「節電マネージャー」を開発。本ソフトウェアをインストールすることにより一定時間パソコンを操作していないときに自動で輝度を下げることが出来ます。また、マウスやキーボード操作により瞬時に元の輝度に戻るため、利用者が特に意識することなくお使いの液晶の消費電力を減らすことが出来ます。また昼休み中や外出時など、あらかじめ離席することがわかっている場合などはあらかじめ時間指定しておくことにより、輝度コントロールに入りやすい状態にすることも可能です。

【節電マネージャー動作例:LCD-A176Gシリーズ】

17型液晶では、最大約60%の節電を実現!



測定値は当社実測値となります。

ストレージ用快適ツール I-O Drive Center



ハードディスクを賢く省電力

Windowsの便利な機能として、電源オプション機能があります。これは一定時間アクセスがない場合、モニターやハードディスクの電源を切ったり、スタンバイ状態にする機能のことです。当社はこの省電力機能を、当社製の対応外付HDDおよびシステムが入っていない内蔵HDDにも設定できるようにした「I-O Drive Center」を開発しました。対象製品をご利用の方に無償ダウンロードいただくことが出来ます。省電力モードを有効にすると、ユーザーが指定した一定時間ドライブにアクセスがない場合、自動的にディスク回転を停止し、節電モードに入ります。ディスクアクセスを再開すると通常通りデータにアクセス可能となりますので、難しい操作は不要で簡単に省電力を実現できます。

【省電力モード有効時と通常時の消費電力比較】



従来製品と比較して、こんなにも省エネ化!

●製品例1:ワンセグチューナーの場合

ワンセグチューナー「GV-SC300」では従来製品と比較して各部品に低消費電力のものを使用、回路構成の見直しをすることにより、約40%の省電力を実現しました。また、視聴用ソフト待機時に不要な回路への電力供給を遮断するECOモードを搭載。ECOモードを使用すると待機時の消費電力を約76%削減しました。

使用条件
動作状態:アプリケーションソフト起動、実放放送(NHK総合金沢)を受信
待機状態:アプリケーションソフト非起動状態

【従来製品:GV-SC200/現行製品:GV-SC300待機電流の比較】



●製品例2:PC向け地デジキャプチャの場合

従来の当社アナログチューナーと比較して、A-D変換回路の削減や、低消費電力部品の選定により、通常使用時の消費電力を約30%削減しました。

使用条件
アプリケーションソフト起動、実放放送(NHK総合金沢)を受信
※アナログ放送製品の場合はエンコード設定を「高画質」に設定

【従来製品:GV-MVP/RX3/新製品:GV-MVP/HSの動作電力比較】



●製品例3:AV機器向け地デジチューナーの場合

従来の当社地デジチューナーと比較して、回路構成の見直しを行うことで待機状態における不要回路への電力供給を遮断し大幅な電力削減を実現しました。

使用条件 待機状態に移行時

【従来製品:HVT-ST200/新製品:HVT-T100の待機電力比較】



環境に配慮した製品作り(2)

Making products considered environment

リデュース(製品開発において、環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために、無駄な原材料を使わないようにすること)

当社では本社・各事業所を挙げて3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進しております。こちらでは製品のリデュースへの取り組みをご紹介します。

製品の筐体縮小・部品点数削減・パッケージサイズ見直しによるリデュース効果

●製品例1:ポータブルDVD(DVRP-UN8LX)

当社では、ポータブルDVDの使用部品点数の削減、筐体のサイズダウンに取り組みました。使用部品点数の削減として、何度も適正化対策実験を実施。その結果、金属部材数の削減に成功。機構部品数が11点から6点に削減し、内部構造の最適化を図りました。

また、使用部品数の削減に伴い外形寸法の縮小にも成功。従来モデル(DVRP-UN8PL2)と比較して、奥行きを162mmから143mmに約2cmサイズダウンすることが出来ました。



使用部品点数の削減に着手しながらスタイリッシュな筐体デザインに仕上げました。その際、ポータブルDVDドライブとして業界最小(製品化当時)とすることが出来ました。

●製品例2:LAN接続ハードディスク(HDL-GSシリーズ)

ハードディスクもモデルチェンジを行い使用部品点数の削減、筐体のサイズダウンに着手。環境に配慮した新デザインを考案しました。

部品・材料の使用量を削減することを目標に開発し、部品数を20点から14点に削減しました。また、サイズダウンを念頭においた新筐体設計も功を奏し、従来品(HDL-GXシリーズ)と体積比較して約27%の小型化に成功。製品化当時で業界最小サイズを実現しました。



構成部品総数の削減、業界市場最小としたデザイン設計によるサイズダウンに加え、100g(ドライブ含まず)の質量も削減することができ、総合的にリデュースを実現することが出来ました。

参考:外形寸法比較
HDL-GSシリーズ:約42(W)×147(D)×195(H)mm(突起部含まず)=約1204cm³
HDL-GXシリーズ:約49.0(W)×193.9(D)×174.9(H)mm(突起部含まず)=約1662cm³

●製品例3:メモリーカードのパッケージサイズ見直し

何気なく手に取っているパッケージ。このパッケージにおいてもリデュースに取り組むことは出来ないかと考えました。旧パッケージは厚みが17mmありましたが、こちらの厚みをデザイン変更により11.5mmに変更。環境への配慮とコストダウンを同時にとりおこなうことが出来ました。また、デザインの簡略化により視認性も向上しました。

パッケージのリデュースは、パッケージのみならずそれらを入れる集合梱包箱の削減にも繋がります。集合梱包箱は旧パッケージ比(※)で3/4に削減。これにより倉庫スペースの有効活用や梱包箱の削減による環境への配慮も実現しました。

(※集合梱包箱への入り数:旧パッケージ15個×6列=90個、新パッケージ20個×6列=120個)

開発者インタビュー(メモリーカードパッケージ)

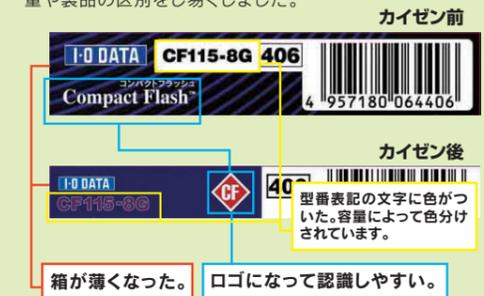
メモリーカードのパッケージ、リデュースを行ったきっかけは? 元々、メモリーカードはPCカードサイズなどもっとサイズが大きなものもあったのですが、メモリーカードのサイズがmicroSDなどどんどん小さくなっていったにも関わらずパッケージサイズは昔のままでした。そのため内容物に対してパッケージが大きく、「空気を運んでいる」といった状態にもなっており、パッケージサイズの見直しから運送効率の効率化を図ることとしました。

箱を薄くするにあたり、大変だったことはありますか? はじめは、現在のメモリーカードサイズにあわせて最大限に薄くした設計で検討したのですが、そうすると、箱が非常に組立てにくくなってしまったんです。また、折り込み部分の長さが数ミリ違ったり、組立て前の状態での箱の倒れている向きが右なのか、左なのか、という細かなことでの積み重ねて組立て易さに差が出るのが分かり、量産に適した箱にする為に、いろいろと試行錯誤しました。更に、関連部署に試作品を確認いただいたところ、箱強度に関するご指摘をいただきました。対応策を調べたところ、紙の繊維の向きによって箱強度に差が出るのがわかり、量産品では箱潰れに強い繊維の向きを採用しています。



パッケージデザインにも工夫があるようですが、何を考えたのですか?

メモリーの容量によって、型番の文字色を変えました(USBメモリーでは、既に色分けを採用済みでしたが、メモリーカードについては色分けされていませんでした)。また、microSDや、コンパクトフラッシュなどの製品名については、ロゴのような表記にしました。これにより、製品を箱に入れた時に容量や製品の区別をし易くしました。



アイ・オー・データ機器は今後もPC周辺機器のリーディングカンパニーとして、環境に配慮した製品開発を推進してまいります。

地域・社会貢献活動

Activities contribute to community

33期は当社で初めてボランティア団体の活動に参加しました。

植林や海岸清掃の環境保全活動をするともに、私たち自身が、自然に触れることで心身をリフレッシュでき、自然のすばらしさを実感することができました。また、毎年恒例の新入社員による本社周辺の清掃活動も実施しました。

いしかわ漁民の森づくり in 七尾



- 日時: 2007年10月20日(土) 10:00~12:00
- 場所: 石川県七尾市 城山スキー場跡地
- 内容: お話と植林 (ヤブツバキ・コナラ・クヌギ各170本前後)
- 主催: クリーンビーチいしかわ実行委員会

当社では初となった環境ボランティア活動参加。(参加人数 8名)
当日は雨でしたが、土いじりや慣れないクワを使っの植林作業はとても楽しく、心が癒されました。

参加者より一言

今回初めて植林ボランティアに参加しました。一人あたりでは5~10本の苗木を植えたのみですが、参加者全員分を合わせると約500本にもなり、一人一人がほんの少し努力するだけでも、それらが合わさると大きな効果が生まれることを実感できました。植林を行ったことで環境意識を高めることもできたので、今後も環境に良いことを積み重ねていきたいと思ひます。



クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ 海岸清掃ボランティア



- 日時: 2008年5月25日(日) 7:00~8:00
- 場所: 石川県金沢市内海岸線(全9km) 「専光寺」エリア
- 主催: クリーンビーチいしかわ実行委員会



当日、天候が雨でしたが、14名が参加しました。金沢市内での活動だったこともあり、1回目のボランティア活動(植林)より、参加者が増えました。当然のことながら、カーシェアリング(計2台、徒歩での参加者2名)をして清掃会場まで移動。雨と言っても、小雨で、朝も早かったため、波の音を聞きながらのゴミ拾いは浜辺もきれいになり、心身共にすがすがしい気分になりました。

参加者より一言

今回初めて清掃ボランティア活動に参加しましたが、まずは参加者の多さにビックリしました。会社や事業所を挙げて参加されている企業も多く見受けられ、当社も地域環境の改善に貢献するために、より積極的な参加が必要と感じました。

美化清掃活動

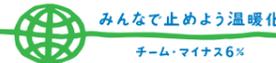


- 日時: 2008年4月4日(金)
- 場所: (株)アイ・オー・データ機器 本社ビル周辺
- 主催: (株)アイ・オー・データ機器

新入社員教育の一環として、新入社員15名、引率者3名にて会社周辺のゴミ拾いを行いました。道路脇にはタバコの吸殻が多く捨てられていました。側溝には空き缶、ペットボトルが多く捨てられており、中には運動靴や傘の骨が捨てられていました。それを新入社員は一生懸命拾い、分別してビニール袋に入れており、拾う人、ビニール袋に入れる人など役割分担をするなどチームワークが出来ました。「私たちの住む町をこれからも綺麗にしていきたい」とコメントしてくれた彼らを、非常に頼もしく思いました。

チーム・マイナス6%への参加

Participation with Team Minus 6%



アイ・オー・データ機器は2006年12月よりチーム・マイナス6%の環境活動に参加しています。こまめな消灯や設定温度、長時間離席するときは業務用パソコンの電源をOFFにするなど、従業員一人ひとりが意識して実践しています。

エアコンスイッチのミニポスター



エアコンを付ける時、パワーを強くする時、まずは室温を確認する習慣を身につけるため、空調スイッチのそばに小さなポスターを貼りました。また、たくさんある照明スイッチは部屋のどの部分のスイッチなのかを表示することで、こまめな消灯を実施しています。

営業所での活動(広島営業所)



消灯し、ポスターを貼る事でお客様にご理解いただく
広島営業所のメンバーとチーム・マイナス6%のポスター

建物の構造上、事務所玄関ならびに使用頻度の低い会議室(応接室)の電気を一日中つけたままにしていたが、人が居ないときは消灯することにしました。ただし、来客時に電気が消えていることにお客様に失礼がないよう、玄関にチーム・マイナス6%の大きなポスターを貼りました。ポスターを貼って早速、来客の方から「地球温暖化対策と、経費対策ですね」とご理解頂いております。

ライトダウンキャンペーン

- アイ・オー・データ機器(本社)は今年もライトダウンキャンペーンに参加しました

環境省では、2003年より温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼び掛ける「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。京都議定書約定期間の初年度であり、サミットイヤーでもある2008年は、6月21日(土)~7月7日(月)までの間、本社1・2ビルではネオン看板を消灯しました。

桐山管理部人事担当部長より一言

『CO₂削減/ライトダウンキャンペーン』に連動して、社員の参加意識の向上、ならびに仕事と家庭の両立支援も視野に入れ、2006年から全社員に対して「特別ノーマルデー」と定め定時退社を呼びかけており、今回で3年目を迎えます。今年は夏至の日が休日でしたので、七夕の7月7日(月)に実施する事になりました。まだ明るさの残る時間帯に仕事を終え帰宅の途につくことで、環境負荷について考えたり、個人や家庭で出来る事の実行に結びつけは幸いです。



空調機の入替えについて

About change of air-conditioning units

当社では老朽化し燃費効率が著しく低下した空調設備を、2007年5月・2008年5月の二度に分けて入れ替えました。入れ替えにあたり現状を踏まえた上で、より省エネルギーな機能をもった機種を選定しました。

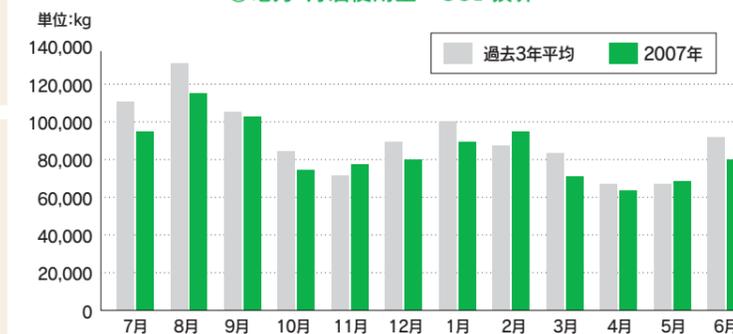
○性能表より

灯油使用量は、冷房時において従来の88%に、暖房時において従来の92%~94%に減少します。また、電力使用量も、従来の65%~71%に減少します。

○遠隔操作盤新設による省エネ効果

従来設備にはなかった機能であり、冷温水の温度や灯油の燃焼状態から判断し、稼働状況を遠隔で制御、必要がなければ稼働を停止することが出来るようになったほか、節約・タイマー運転を活用することで、これまでと比較して高い省エネ効果を得られるようになりました。

○電力・灯油使用量 CO₂換算



環境コミュニケーション

Communication with our surroundings

お客様へメールマガジンでの環境保全活動報告

当社での環境保全活動はメールマガジンを通して、お客様にご報告しております。今後の活動にもご期待ください。また、メールマガジン配信を希望される場合は、<https://wssl.iodata.jp/magz/> よりお申し込みいただけます。

2007年 10月11日配信 **今年も県民エコライフ大作戦に参加**

石川県では2007年9月10日(月)～9月16日(日)までの1週間、県をあげて「県民エコライフ大作戦」を実施しました。これは県内の自治体・企業・各家庭が力を合わせて取り組む、地球温暖化の防止活動で当社は昨年に続き、今年もこの活動に参加。「部屋の照明をこまめに消す」などの対策により約1.4tのCO₂排出を削減しました。

お客様の声

県民エコライフ大作戦の話は、印象的でした。これからも、がんばってください!応援します。

2007年 11月8日配信 **第32期 環境報告書を掲載**

2006年7月から2007年6月までの1年間、アイ・オーが行った環境保全活動をまとめた「第32期 環境報告書」をホームページに掲載しました。

※こちらは2006年度32期の環境報告書公開時に配信したメールマガジンです。

32期環境報告書はこちら

<http://www.iodata.jp/company/environment/report/report32/>

お客様の声

- 環境問題に関しては私自身も会社の取り組みに大変興味があったので、楽しくレポート読ませて頂きました。
- 「環境報告書」の報告、興味深く読ませていただき、賛同するところ大でした。今後の活動も期待しています。
- 貴社の「第32期 環境報告書」を全部読ませて頂きました。貴社の環境保全活動の取り組みについてとてもよく分かりました。これからも環境保全活動に取り組んでください。私も陰ながら応援させていただきます。
- 環境保全活動など、企業としての責任に取り組む活動を知ることができて、信頼と安心が増した。
- 近頃は環境問題だけでなく、少しでも皆が簡単に実行出来るような事を紹介して欲しいですね。
- 第32期 環境報告書を見ても、企業は勿論のこと個人でも環境を考えなくてはなりません。レジ袋をもらわない(スーパーでポイント特典をつけている)このようなことから始めたいのではないのでしょうか。

2007年 11月22日配信 **いしかわ漁民の森づくりin七尾**

さる10月20日、当社環境委員会のメンバーを中心に植林ボランティア「いしかわ漁民の森づくりin七尾」に参加しました。前日からの雨で、開催が危ぶまれたのですが、植林作業中だけは雨が上がり、慣れない手つきでクワを持って、1本1本植えていきました。土に触れたり、雨に濡れたり、たくさんの自然を感じることができ、参加したメンバーにとって貴重な体験になりました。

お客様の声

- 貴社の社員さんが、環境保全活動に取り組まれていることを知り、同じ活動をしている者として共感いたしました。
- 環境保全のイベントを事前にお知らせいただくこと参加できる可能性あり何らかの方法で告知して欲しい。
- 環境保全運動に関心を持つだけでなく、実際に体を張って運動に参加されたことに、敬意と共感を覚えました。ご苦労様でした。
- 私も毎日ボランティアをしています。植林ボランティアは、とても良い事だと思います。一緒にボランティアを盛り上げて行きましょう。

2008年 4月10日配信 **新入社員のみなさんと会社付近を美化活動を実施**

4月1日、当社に15名の新入社員が入社。彼らとともに、金沢のアイ・オー本社周辺の清掃活動を行いました。地道な清掃活動も、みんながやれば大きな効果が期待できます。新年度を向かえたこの4月、みなさんも始めてみませんか?

お客様の声

- 環境取り組み今後も続けてください。
- 私も23年前初めての会社の新入社員で名古屋の清掃活動を毎月行っていました。社会奉仕活動はとても良い事だと思いますので、これからも続けられることを願います。
- 製品紹介だけでなく、清掃活動の記事を載せて社員の活動を報告しているのがユニークで良かった。
- 頑張れフレッシュマン。君らの努力が私たちに多くの夢を見せてくれる。

環境をテーマとした展示会「エコプロダクツ 2007」に出展

環境活動を幅広くアピールを行うため、環境をテーマとした展示会「エコプロダクツ 2007」に出展いたしました。本展示会は東京有明のビックサイトにて2007年12月13日(木)～15日(土)に行われたもので、約16万5千名の方が来場。当社は環境に配慮した液晶ディスプレイの展示を中心に、環境への取り組みについて展示を行いました。

目で見てわかる環境対策

当社の液晶ディスプレイは消費電力を節約できる「ECOモード」を搭載しています。当社ブースでは「ECOモード」がどれだけ効果があるのか比較してディスプレイを配置。他にも液晶ディスプレイからどのような資源がリサイクルできるかを解説。ここ数年でどれだけ梱包に使われる資源が改良されたのか実物を展示して実感できるような展示物も陳列いたしました。「アイ・オー・データ機器はこんな取り組みをしていたのか!知らなかった!」と驚かれる来場者の方も多かったです。



展示ブースは極限まで環境負荷を減らした部材を使用しました。

アピールが大切!?

今回の展示会で実感したのが、環境への配慮はその内容もさることながら、自分たちが取り組んでいる活動を各々がアピールすることで、みんな環境に対する活動に取り組んでいくという雰囲気を作ったり、互いの活動をアピールし合うことで、相手の活動を自分の活動の参考にしてレベルアップを図っていく事が大切だと感じました。

ブースにも環境配慮

今回の展示会で一番配慮をしたのはブース自体で使用する部材です。通常の展示会では見栄えの良いブースを作るため、どうしてもゴミになる部分が出ていました。そこで当社ブースでは出展自体が可能な限り環境への負荷にならないように、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を心がけて設計。普段の展示会と比較しても部材を使う量を減らしました。

データシート

Data sheet

主要な環境パフォーマンスの指標の推移

報告対象期間(年=7/1～翌6/30)	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	
電力使用量	1,000kwh	1,751	1,821	1,795	1,779	1,748
灯油使用量	kl	169	186	195	167	158
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,049	1,117	1,130	1,054	1,020
リサイクル	kg	204,196	210,310	252,209	264,369	247,727
一般・産廃	kg	55,153	60,638	63,603	51,096	38,087
グリーン購入率	%	60%	76%	92%	90%	94%

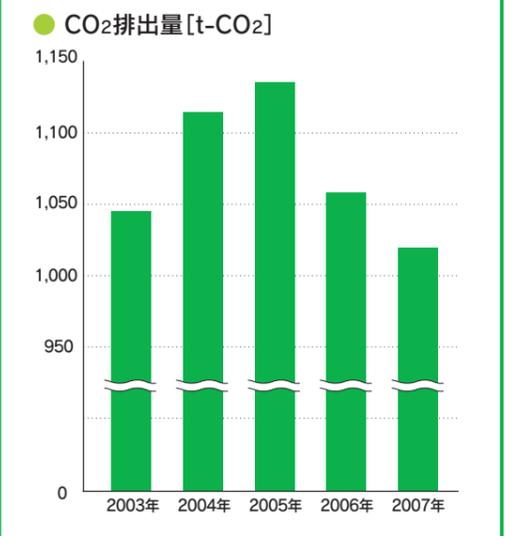
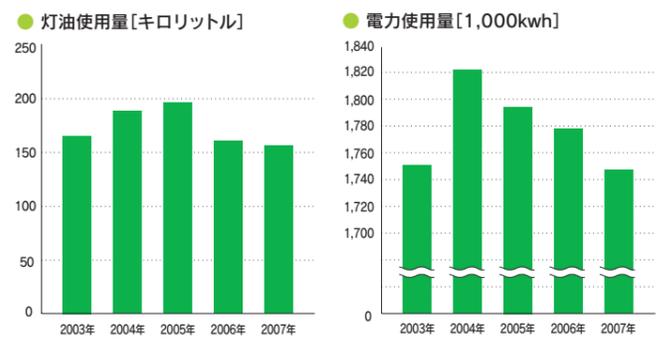
廃棄物(不用品)の削減

廃棄物(不用品)の削減	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
廃棄物・不用品の削減(2000年比)	目標 15% 結果 ☺ 44%	-	-	-	-
リサイクル率	目標 - 結果 79%	75% ☺ 78%	80% ☺ 80%	80% ☺ 84%	84% ☺ 87%
不用品量 [kg]	55,153	60,638	63,603	51,096	38,087
リサイクル [kg]	204,196	210,310	252,209	264,369	247,727
総排出量 [kg]	259,349	270,948	315,812	315,465	285,814



温室効果ガスの削減

電力・灯油の削減	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
CO ₂ 換算での削減(2001年比)	目標 2% 結果 ☺ 10.60%	6% ☹ 4.80%	6% ☹ 3.80%	5% ☺ 10.18%	5.5% ☺ 13.1%
電力使用量 [1,000kwh]	1,751	1,821	1,795	1,779	1,748
灯油使用量 [キロリットル]	169	186	195	167	158
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]	1,049	1,117	1,130	1,054	1,020



製品回収リサイクルの実績

期間	液晶ディスプレイ	プラント搬入質量 (t)	プラント搬入台数 (台)	再資源化処理量 (t)	資源再利用率 (t)	資源再利用率 (%)
2005年4月～2006年3月	事業系	0.043	8	0.043	0.034	78.7
	家庭系	0.968	179	0.968	0.763	78.7
	合計	1.011	187	1.011	0.797	78.7
2006年4月～2007年3月	事業系	0.38	71	0.38	0.32	82.9
	家庭系	2.25	416	2.25	1.87	82.9
	合計	2.63	487	2.63	2.18	82.9
2007年4月～2008年3月	事業系	0.64	119	0.64	0.55	86.6
	家庭系	3.46	640	3.46	2.99	86.6
	合計	4.10	759	4.10	3.54	86.6

プラント搬入質量、再資源化処理量、資源再利用率は、小数点以下3桁で切り捨て表示

グリーン購入

事務用品の購入	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
グリーン購入率 (金額)	目標 58%	70%	80%	90%	92%
結果	☺ 60%	☺ 76%	☺ 92%	☺ 90%	☺ 94%

※表内の年の表記は、当年の7/1から翌年の6/30までとなります。